

広島大学法科大学院

小論文試験

2023年8月26日(土)

10:30~11:50

注意事項

- 1 ページ数は、表紙を除いて7ページです。
- 2 解答用紙は2枚、下書用紙は2枚です。問いごとに解答用紙があります。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に横書きで書いてください。罫線外、マス枠外及び裏面を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 5 配布した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 6 試験時間の途中で退室することはできません。
- 7 試験終了後、問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

【問題】

以下の【文章A】及び【文章B】は、同じ著者による知識及び問題解決について述べたある著書からの抜粋である。この文章を読んで、次の問いに答えなさい。なお、出題に際して、一部省略・変更した箇所がある。

第1問（50点）

【文章A】において、著者は、「教えてもらったことを覚えて、それを適当な場面で使うという考え方は放棄した方がよい。」（5頁13から14行目の下線）と述べる。著者がこのように述べるのはなぜかについて、【文章A】全体の内容をふまえて400字以上600字以内で説明しなさい（句読点も1字と数えるものとする）。

第2問（100点）

【文章B】において、著者は「問題を解決するというのは、望ましい状態と現状が一致した状態のことを指す。どうやって一致させるかということ、現状に何らかの操作を加えることでそれを行う」（6頁18から20行目の下線）と述べる。著者が述べる「問題を解決する」

手法を、第2問中では「本件問題解決手法」と呼ぶことを前提に、以下の（1）及び（2）に答えなさい。

（1）著者は、本件問題解決手法の実践例として、ある企業の商品開発部の担当者が氷菓を開発した経緯を挙げ、その中で「問題を作り出している＝創発させている」（7頁11行目の下線）ことに言及している。それでは、この担当者が最初に問題を創発させて出来上がった「望ましい状態」「現状」「操作」は、それぞれ何になるのかを述べなさい。

（2）あなたは、以下の①から⑩の状況にあるとする。

- ① あなたは、法律事務所に勤務する弁護士である。
- ② あなたは、ある依頼者から相談された案件Cを解決する必要がある。
- ③ あなたは、案件Cを解決するために、日本国内で類似の案件を扱った裁判所の判断が存

- ⑦ あなたは、「T」を取り寄せて早速読もうとした。しかし、「T」はS国の法制度について前提知識を有している読者を想定して書かれていたため、S国を訪れた経験が無いの

- ⑧ それでも、部分的に理解できた範囲内から「T」が案件Cの解決にやはり有益であると考えたあなたは、何とかして「T」の内容を十分に理解したいと考えている。
- ⑨ あなたは、専門的な英単語及び英文法を即座に調べるためのツールを十分に有している。
- ⑩ 「T」の日本語訳版は出版されておらず、また、S国の法制度を専門的に研究している研究者等の協力は得られそうにない。

あなたが、本件問題解決手法を用いて「T」の内容を十分に理解できるようになる場合、今後、どのように行動するのかについて説明しなさい。